

佐賀県知事 山口 祥義 様

住 所 東京都台東区寿 1-5-10 1510ビル3階
団 体 名 特定非営利活動法人ジャパンハート
代表者職・氏名 理事長 吉岡春菜
電話番号 03-6240-1564

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による
寄附金活用実績報告書

2021年6月9日付け県協第514号により寄附金交付決定通知のあった佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して下記のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 活用実績報告書（様式第6号 別紙1）
- 2 収支決算書（様式第6号 別紙2）

令和3年度寄附金活用実績報告書

事業名	海外医療支援推進事業
寄附受入額	179,021,600円
事業内容(いつ、どこで、誰が、何を、どのように実施したのかについて記載)	
<p>1. 佐賀県をハブとした災害支援体制の強化事業</p> <p>■期間：2021年4月～2022年3月</p> <p>■事業の要旨：佐賀県をハブとして、九州を初めとする災害時の医療支援体制を構築する。</p> <p>①伊万里事務所での災害支援物資の貯蓄・保管</p> <p>②国際緊急救援ボランティア登録研修会12月の回を佐賀市内で実施</p> <p>2. 啓発活動及び人材育成事業</p> <p>■期間：2021年4月</p> <p>■場所・会場：佐賀清和学園講演会</p> <p>■参加者：中学校生徒158人、高校生徒852人、その他保護者、同窓会</p> <p>■事業の要旨：「世界に必要な人になるために～途上国の医療最前線で25年働く小児外科医からのメッセージ」をテーマに最高顧問の講演会を実施</p> <p>3. 海外医療支援推進事業</p> <p>■期間：2021年4月～2022年3月</p> <p>■事業の要旨：ジャパンハートの活動支柱である海外医療支援体制の構築</p> <p>4. 固定IPアドレス環境整備</p>	
事業実施の成果・効果(見込み)	
<p>※提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、成果・効果の見込みを記入してください。</p> <p>1. 佐賀県をハブとした災害支援体制の強化事業</p> <p>佐賀県医療政策課やSPF事務局との面談を実施し、有事の際に佐賀県を中心とする被災地に対して迅速な支援をするための準備を整えた。</p> <p>2021年8月11日から、九州北部を中心に記録的豪雨となった令和三年8月豪雨災害において、8月18日より先遣隊を派遣し、武雄市および大町町の調査を実施した。保健師の同行のもと避難所を数カ所視察し、大町町避難所への物的支援(携帯型アルコール、手洗い石鹸、バスタオル)と、新型コロナウイルス感染症クラスター支援経験看護師による感染症対策面での導線改善提案などを行った。また大町町では、ため池が多く堤体の決壊による二次災害の懸念もあり、在宅避難者も多かったことから、9月5日から17日まで看護師を派遣し、SPF事務局をはじめ他団体との協働のもと在宅避難者の健康観察を目的とした巡回を実施した。</p>	

なお、令和4年6月より、佐賀県在住スタッフを1名雇用し、佐賀市への事務所開設の準備を進める予定である。

2. 啓発活動及び人材育成事業

佐賀清和学園講演会にて、高校生・中学生約1000名に対して、ジャパンハートの海外での医療活動紹介を通じて、東南アジアの現状へ関心を高めた。また、ジャパンハート創設者である吉岡秀人から若者に対する視野を広く持ち、社会利益の中継者となる生き方を提案したことで、国際的な視野の広さを持った次世代リーダーの創出と育成に貢献した。

3. 海外医療支援推進事業

医療保険制度のない途上国（ミャンマー、カンボジア、ラオス）での外科手術と診療を主軸とする直接的な医療支援活動と、その国を支える医療従事者の育成のための人材育成に注力した。

とくにカンボジアでは2016年に自前のチャリティ病院を設立し、2018年より小児がんを中心としてこどもの治療困難だった高度医療の治療に取り組んでいる。既にカンボジア全国から他院で治療が受けられない子どもたちが来院し、病床をゆうに超えてしまう事態となっている。カンボジアこども医療センターを高度医療の治療施設および現地人医療者への人材育成拠点へと更に進化させ、日本の支援で貧困のため医療が受けられず命を落とす患者を1名でも多く救う活動を実施した。

2021年度の治療実績は、3か国で約17000件であった。

また、今後はコロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、佐賀県内で講演会や交流会を実施することで、グローバルな視点を持った医療者を養成するとともに、将来的に佐賀県内の医療従事者と連携した遠隔診療や海外での手術活動を実施するための、連携基盤を構築する。さらに、佐賀県の若手医療従事者に、日本と比較して医療者が少なく多くの症例を診ることが出来る海外医療の現場で、臨床医療の実践経験を積んでもらうことで、災害医療や地域医療において貢献する人材を育成する。

4. 固定 IP アドレス環境整備

ふるさとチョイス CMS のセキュリティの強化のため、固定 IP アドレスを導入した。

(様式第6号 別紙2)

収 支 決 算 書

事業名		海外医療支援推進事業	
区 分		決算額 (円)	備 考
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	91,947,000	第1回交付：91,947,000円
	佐賀県ふるさと寄附金	87,074,600	第4回交付：87,074,600円
	収入計	179,021,600	
支 出	旅費	1,500,000	関東からの往復×30回
	宿泊費	2,100,000	7,000円/泊×60日×5名
	現地車両手配等交通費	420,000	7,000円/日×60日
	医療品・支援物資	3,000,000	
	安全管理費	400,000	PCR検査費等
	消耗品費	100,000	
	人件費・福利厚生費	6,300,000	5か月分×5名
	事務所賃料管理費	50,000	5か月分
	会場・機材レンタル費	80,000	
	小児病棟拡張及びオフィス棟 建設にかかる費用	120,000,000	
	医療機器	10,000,000	小児治療の為の術中透視装置
	医療機器設置の為の工事費	8,000,000	
	医療器具・備品費	3,847,000	
	医療支援費	22,100,000	薬剤、検査代、医療資材代等
	返礼品等の調達に係る費用	500,000	
	返礼品等の送付に係る費用	150,000	送料・梱包費
	広報に係る費用	500,000	広告・Web掲載等
	固定IPアドレス取得費用	50,000	ふるさとチョイスCMS
支出計	179,097,000		

○支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。

経理上の区分名で記載して構いません。

○領収書等は事業終了後5年間保存してください。